

雑 報

調査票による工場用水源調査中間報告

当所では工業用水源調査事業の一環として昭和27年以降、数次にわたり、全国主要工場を対象とする調査票による工場用水源調査を行ってきた。同調査票では工場における原水取得状況を水量・水質および水温の面から調査するのを目的としているが、特に井戸水源を用いている工場については、井戸諸元あるいは井戸能力について詳細な記入を求めている。調査票発送数は同一工場に対する繰返し発送分を含めて約3,000で回収率は毎回30%程度であったが、現地調査そのほかの若干の調査結果とを合せれば、大量の原水取得を行っている工場は一応大部分網羅できたように考えられるので、30年4月末をもつて整理を行い、種々の観点から検討を行つている。

もともとこの調査票は工業用水源地域調査の予備資料にするとともに、工場用水源保全のための現況把握を主要な目的としていたのであるが、整理の結果纏められた第1・2表は、いずれも完全なものではないにしても、ど

の地方、どの業種で地下水依存度が高く、したがって水理地質的に解決を要する種々の問題がどこに起る可能性が大きいかという点を端的に示しているものと考えられる。

第1表に示してある数値は最大取得日量であり、常時この全量が取得されているというわけではないが、この表によれば、伏流を含めた地下水の取得合計量は地表水のそれと伯仲しており、深井戸による被圧面地下水だけで淡水全取得量の1/4に達していることがわかる。また第2表によると繊維・紡績関係と化学工業関係の工場で利用深井戸数の過半が占められていることとなつている。なおこれらの調査票の回答と同時に提供を受けた深井戸鑿井地質柱状図約500枚は別に一定の様式に書き改め整理、保存し、今後の活用 に 具 えて いる。

(藏田延男・森 和雄)

第1表 全国1,150工場の工業用水取得量(最大日量, 単位 m³/日)

地方・地域別	水源別 上水道	工業用水道	工場自家引用淡水水源別						淡水小計 (地方・地域別)	海水
			表流	湖沼	湧泉	伏流	自由面地下水	被圧面地下水		
北海道	1,800		909,500	100			10,900	9,800	932,100	75,500
東北6県	6,200		477,200			115,800	4,600		603,800	648,200
東京都	16,700	20,000	764,100			2,400	13,300	283,900	1,100,400	1,100
神奈川県	44,100	152,000	45,800		54,000		100	39,400	335,400	1,005,200
関東5県 (除東京・神奈川)	900		216,300		36,000	117,800	35,700	117,000	523,700	164,000
静岡県	40,900	35,600	202,700		2,800		117,500	434,400	833,900	112,300
長野・新潟2県	5,900	146,000	116,800		6,300	23,000	2,600	106,800	407,400	83,700
富山・石川2県	1,300		349,600			16,900	113,100	154,900	635,800	
福井県	2,100					3,000	3,100	59,600	67,800	
岐阜県						5,400	7,600	178,300	191,300	
愛知県	19,900		46,500			121,800	18,800	231,800	438,800	891,400
三重県	6,500					2,700	13,500	72,300	95,000	59,000
滋賀県			34,900	78,400				20,500	133,800	
京都府	13,800		300,400			8,900	1,100	157,100	488,800	609,900
大津市	14,000		163,300		7,500	164,000	3,300	183,700	528,300	1,467,000
和歌山県	1,100						8,800	45,000	54,900	56,000
鳥取・島根2県			4,200			106,700	65,400	49,100	225,400	
岡山・広島・山口3県	112,000		158,200	2,300	4,900	401,500	29,700	58,000	766,600	799,900
徳島県	300		10,100				2,200	102,900	115,500	61,400
香川・愛媛2県	3,400	14,500	17,700			78,400	37,900	129,700	281,600	1,285,600
九州6県	49,000		705,400	2,100	3,800	126,300	16,400	10,000	913,000	3,983,700
小計(水源別)	339,900	368,100	4,522,700	82,900	115,300	1,294,600	505,600	2,444,200	9,673,300	11,303,900

第2表 地方別および業種別工場用深井戸分布 (全国599の地下水利用工場の調査結果による)
単位: 井戸本数

業種別	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	小計
火力発電	1			7	14	2	5		29
ガス製造			3	3	6				12
製鋼		1	16	79	5	1			102
肥料・化学薬品	2	4	27	96	41	10	26	1	207
セメント	1	2		2					5
ゴム製造			3	1	6				10
石油精製				2	11				13
写真			11						11
パルプ・製紙	1	6	16	112	3		12		150
紡績・繊維		1	30	304	97		70	12	514
機械・金属			8	65	5	3			81
ビル	1	4	8		8				21
醸造(酒・醬油)	5		2	3	2		2		14
食品・医薬			30	16	23		12		81
陶器・硝子				16	12				28
皮革製造			6						6
製氷		2		3	4				9
木工・その他				12					12
小計	11	20	160	721	237	16	127	13	1,305
利用工場数	6	8	69	388	77	13	31	7	/

地質調査所月報 第6巻第5号 正誤表

頁	行	誤	正
64	左下9	緑泥石	緑泥化

地質調査月報 第6巻第6号 正誤表

頁	行	誤	正
20	左11	例えばそ G ₁₂	例えば G ₁₂
28	右20	四番層 (G ₅)	四番層 (G ₄)
31	第14図 説明	G ₁ ・G ₂ 層上限構造図	G ₁ ・G ₁₂ 層上限構造図
32	第15図	G ₄₅ : G ₅	S ₄₅ : G ₅
33	左9	伸長したが分布	伸長した分布